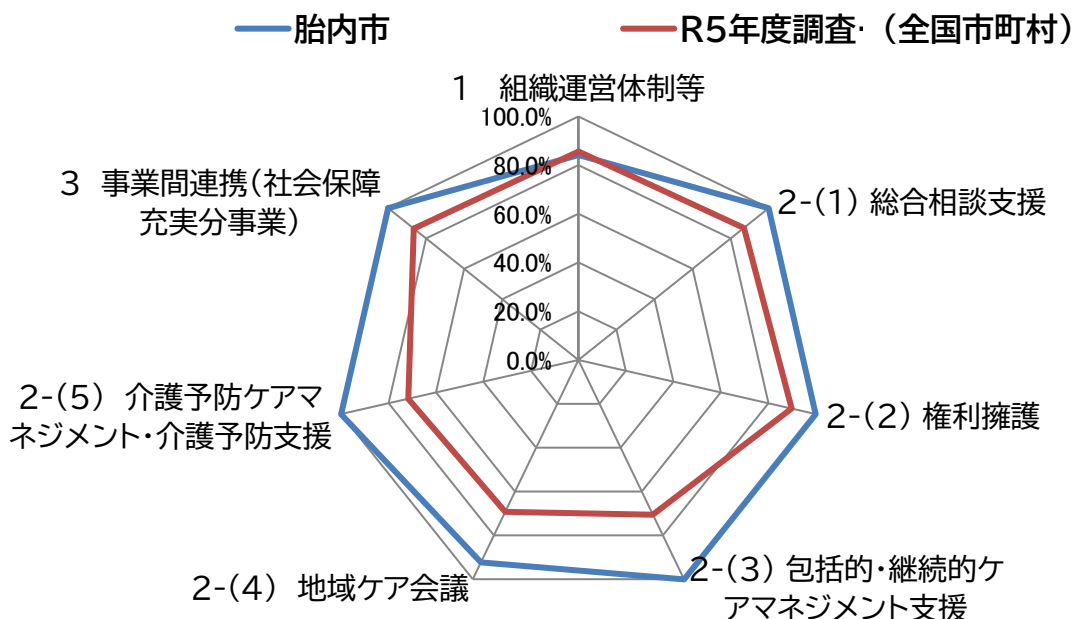


3(1)地域包括支援センター運営状況評価の結果について

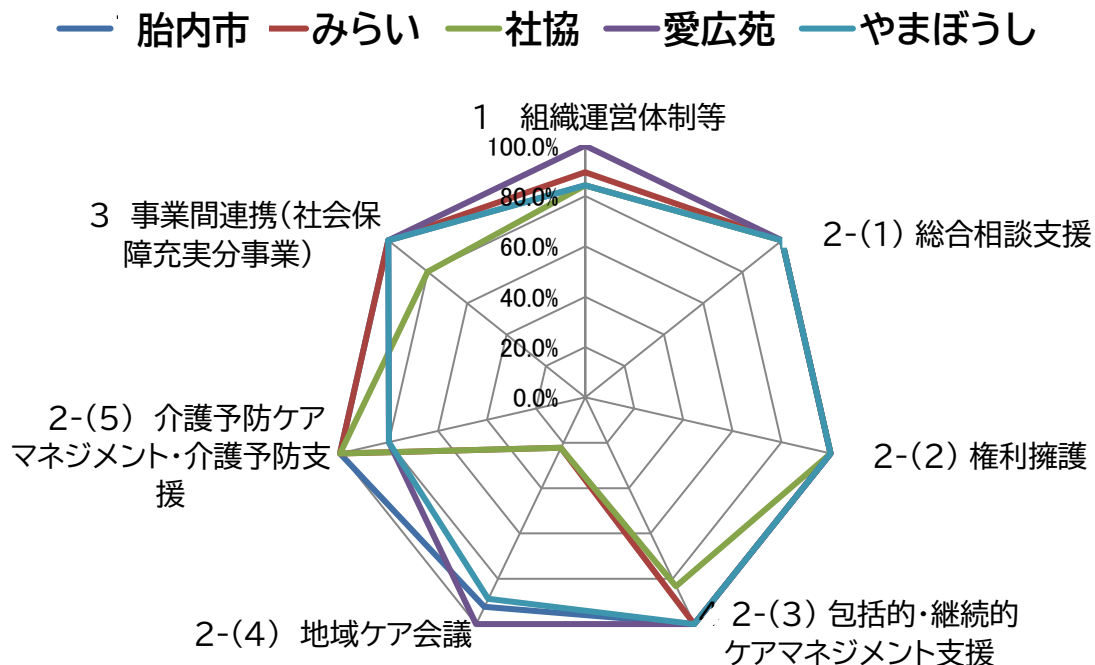
図：地域包括支援センターの取組状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日の取組み 令和5年4月末時点での報告による)

胎内市と全国平均の比較



胎内市と各地域包括支援センターの比較

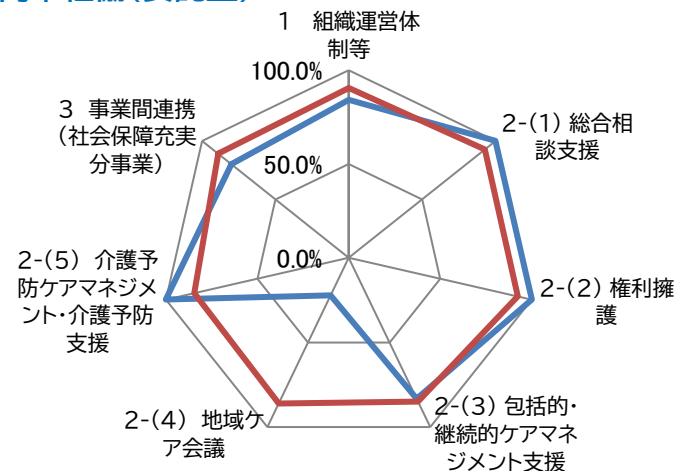
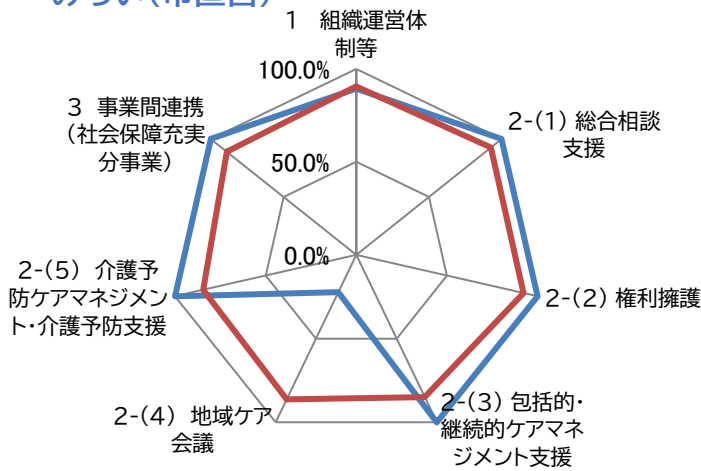


1. 胎内市の取組状況

- 胎内市の取組状況は、昨年同様、全国平均を上回っている。
- 指定三職種それぞれ部会を設け、職種同士の横の繋がりを強化している。
- 多職種連携、専門職の資質向上を目指した市主催の研修会を定期的開催している。

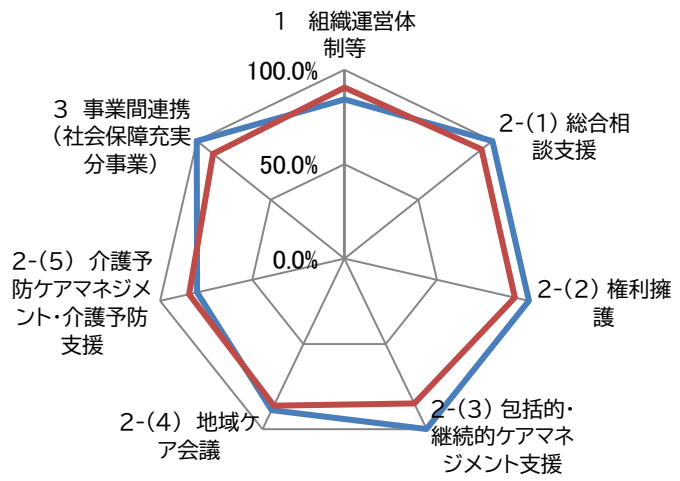
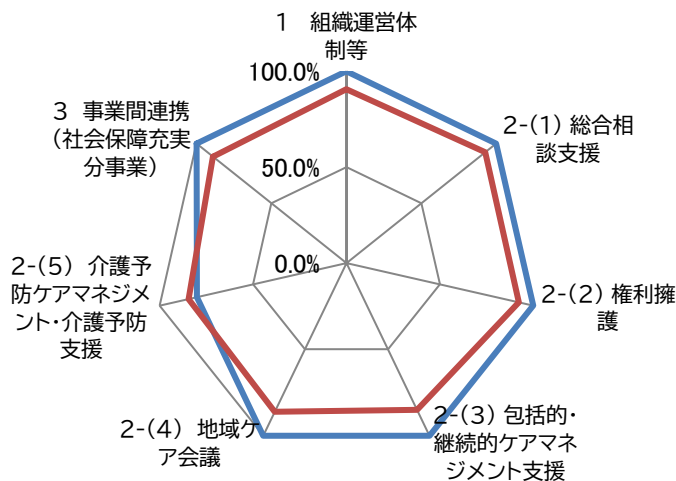
みらい(市直営)

胎内市社協(委託型)



中条愛広苑(委託型)

やまぼうし(委託型)



2. 地域包括支援センターの特徴

- 「みらい」は、基幹型センターとしてセンター間の総合調整や自立支援型地域ケア会議の開催、困難事例に対する他センターの後方支援等を実施している。
- 「胎内市社協」は、地域のつながりやネットワークが強み。生活困窮、障がい者相談、居宅介護支援、訪問介護、通所介護を有し、多職種によるチームアプローチによる支援を包括的に実施している。
- 「やまぼうし」は、認知症地域推進員を配置し、認知症支援機能強化型センターとしての役割を担い、認知症に対する相談が多く、認知症専門医、認知症疾患センターと連携し支援を行っている。
- 「中条愛広苑」は、成年後見機能強化型センターとしての中核機関の役割を担っている。
市営・県営住宅のある地域を担当しており、単身・高齢者世帯からの相談も多く、民生委員との連絡会を定期的に開催し、支援を行っている。

3. 現状で取組が進んでいない業務とその要因

- 「みらい」「胎内市社協」: 困難事例に対する地域ケア会議を実施していないが、民生委員や区長へ直接連絡をし、課題解決に向け対策を行っている。
- 「中条愛広苑」: 地域の介護予防把握事業の取組が課題。今後、計画的に取組む。
- 「やまぼうし」: 地域介護予防活動支援事業の取組が課題。地域の介護予防リーダー等の地域活動の担い手の発掘や通いの場の立ち上げ支援に取組む。